

foobar2000を使用してDSDファイルを再生する

foobar2000はWindowsパソコンにてハイレゾ音源を高音質に再生できるフリーソフトウェアの音楽プレーヤーです。PCM音源だけでなく、追加コンポーネントをインストールすることで、DSD音源をネイティブ（PCM変換せずに）再生することができます。

※foobar2000の詳細な使用方法やトラブルシューティングには、雑誌やインターネットなどの情報をご活用ください。本書には、必要な設定のみ記載しています。

※foobar2000はSOUND WARRIORの製品ではありません。このソフトウェアを使用することによって生じるいかなる損害に対しても、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。

※本書では、Windows 10での操作方法を例に説明します。

※本書の内容は、2024年7月時点の情報にもとづいています。

主な手順

前提条件：

a. 専用ドライバーをWindowsパソコンにインストールし、設定をする

詳しくはSWD-DA15(USD DAC)などの取扱説明書をご確認ください。

b. DSD対応USBオーディオ機器とWindowsパソコンをUSBケーブルで接続する

詳しくはSWD-DA15(USD DAC)などの取扱説明書をご確認ください。

1 foobar2000をインストールする

foobar2000の最新版は公式サイトからダウンロードできます。お使いのOS環境に合わせて最新の安定版（“Latest stable version”）をダウンロードしてください。

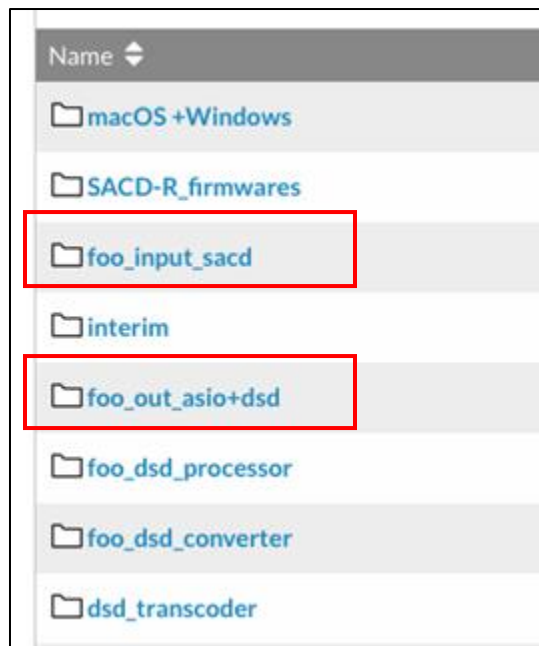
<http://www.foobar2000.org/download>



2 コンポーネントの追加

foobar2000に再生に必要なコンポーネントを追加します。コンポーネントは、SOURCE FORGEからダウンロードできます。

<https://sourceforge.net/projects/sacddecoder/files/>



【追加するコンポーネント】

- foo-out-asio+dsd

(ASIO出力コンポーネント + DSD再生出力)

- foo-input-sacd

(DSD音源再生用コンポーネント)

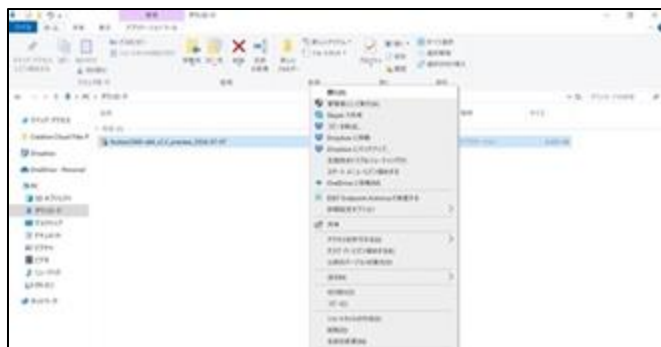
1.foobar2000をインストールする

【1】 foobar2000

例：バージョンfoobar2000-x64_v2.1.5.exe の場合

ダウンロードしたfoobar2000-x64_v2.1.5.exe を実行します。

※ファイル名はバージョンにより異なります。



【2】

「インストールしようとしているアプリは、Microsoft 検証済みアプリではありません」と表示されます。

[インストールする] をクリックします。



【3】

[Next >] をクリックします。



【4】

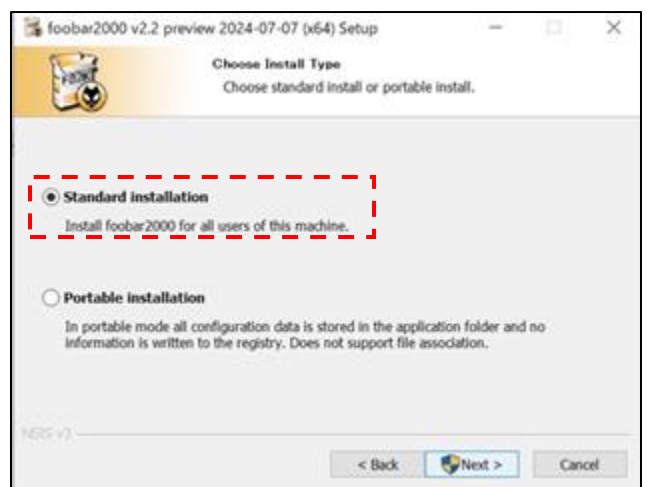
ライセンス条項を確認し、問題がなければ

[I Agree] をクリックします。



【5】

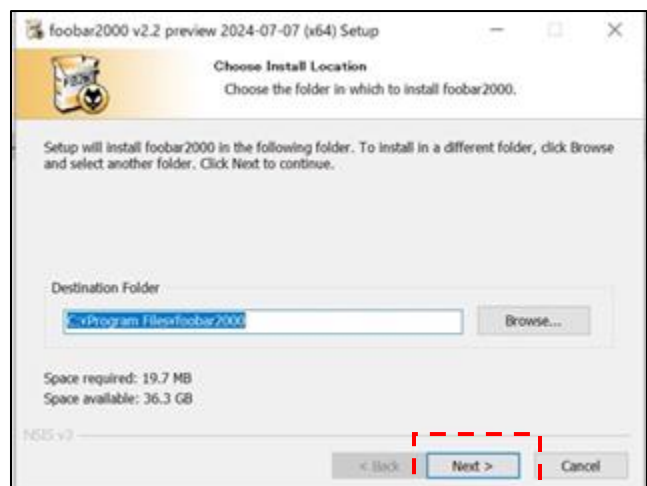
「Standard installation」を選び、[Next >] を
クリックします。



【6】

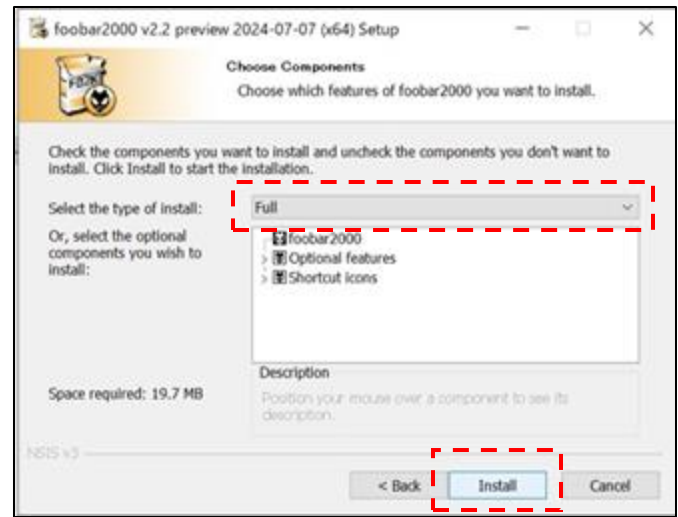
インストール先を選び、[Next >]をクリックし
ます。

※通常、インストール先を変更する必要はありません。



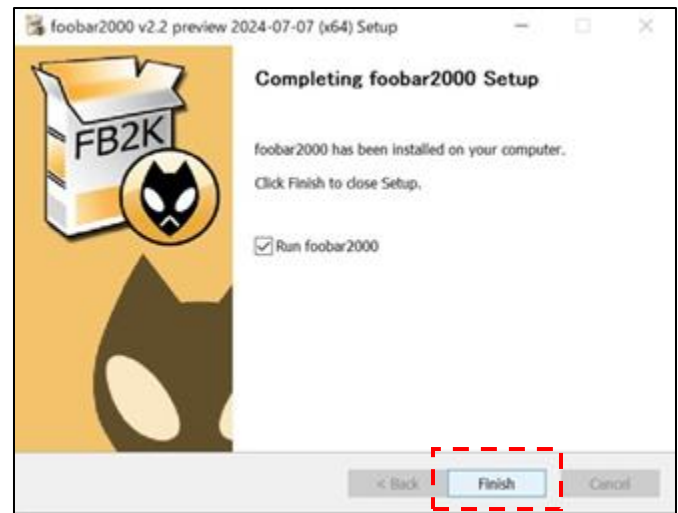
【7】

「Select the type of install:」の項目で「Full」を選び、[Install] をクリックします。



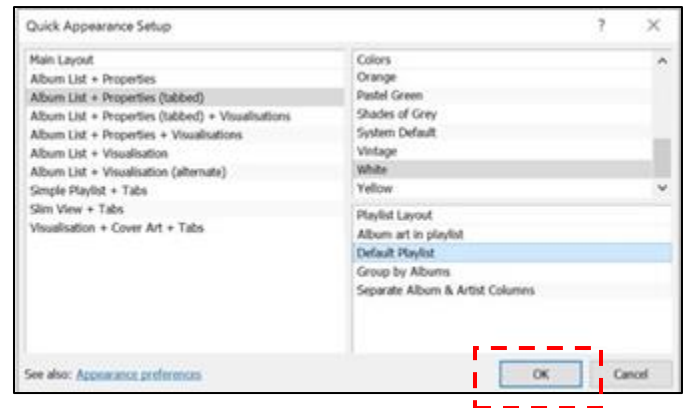
【8】

[Finish] をクリックし、インストールを完了します。



【9】

インストールが完了すると、スキンの設定画面が開きます。お好みのデザインに設定してください。(画面は一例です。)

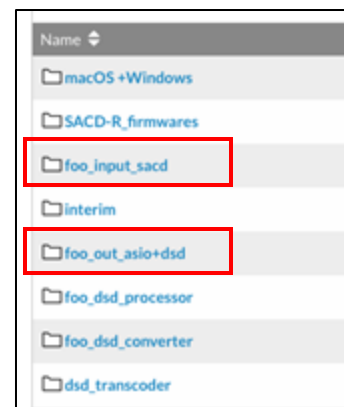


2.コンポーネントを追加する

foobar2000に再生に必要なコンポーネントを追加します。
 コンポーネントは、SOURCE FORGEからダウンロードできます。
<https://sourceforge.net/projects/sacddecoder/files/>

【追加するコンポーネント】

- foo-out-asio+dsd (ASIO出力コンポーネント + DSD再生出力)
- foo-input-sacd (DSD音源再生用コンポーネント)

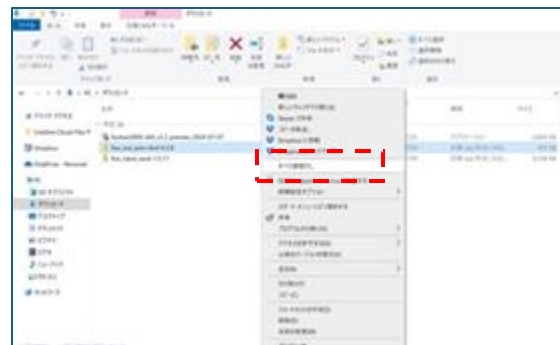


【1】 foo-out-asio+dsd

例：バージョンfoo-out-asio+dsd-0.3.8の場合

foo_out_asio + dsd - 0.3.8を展開（解凍）します。

※圧縮/解凍ソフトがインストールされている場合は、メニューが右図と異なります。

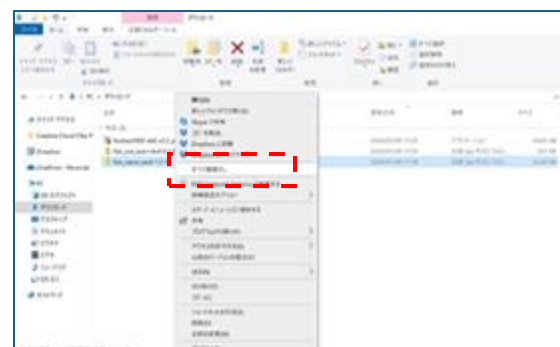


【2】 foo-input-sacd

例：バージョンfoo-input-sacd-1.5.11の場合

foo_input_sacd-1.5.11を展開（解凍）します。

※圧縮/解凍ソフトがインストールされている場合は、メニューが右図と異なります。

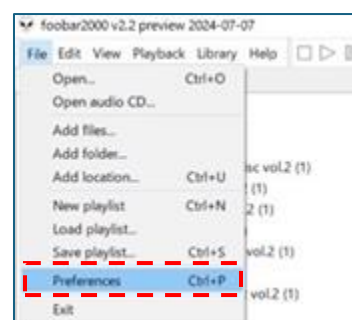


【3】 foobar2000のメニューバーから

File

└ Preferences

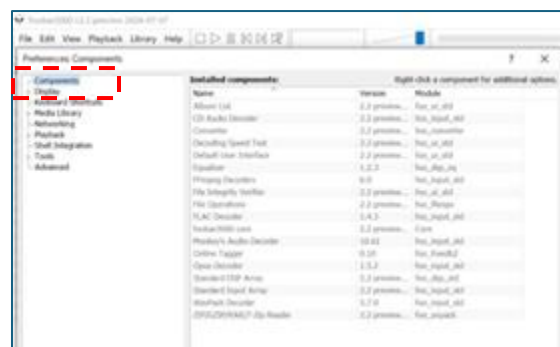
を選びます。



【4】

Preferences画面が開きます。

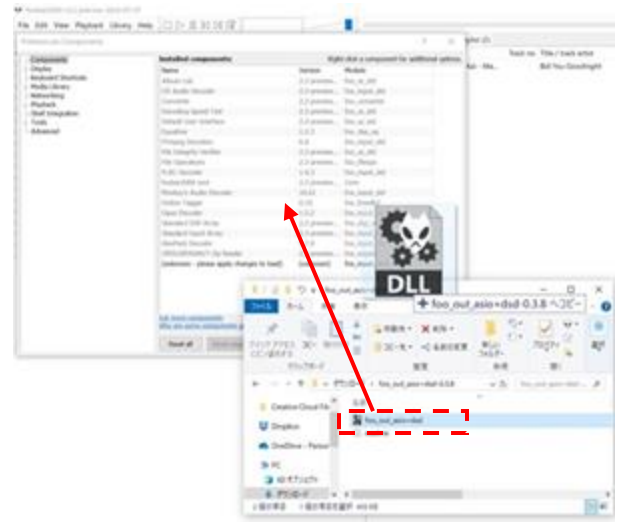
左側ペインから Components を選択します。



【5】

【1】で展開（解凍）したfoo-out-asio+dsdフォルダー内にあるfoo-out-asio+dsdを、Preferences画面の右側ペインにドラッグ&ドロップします。

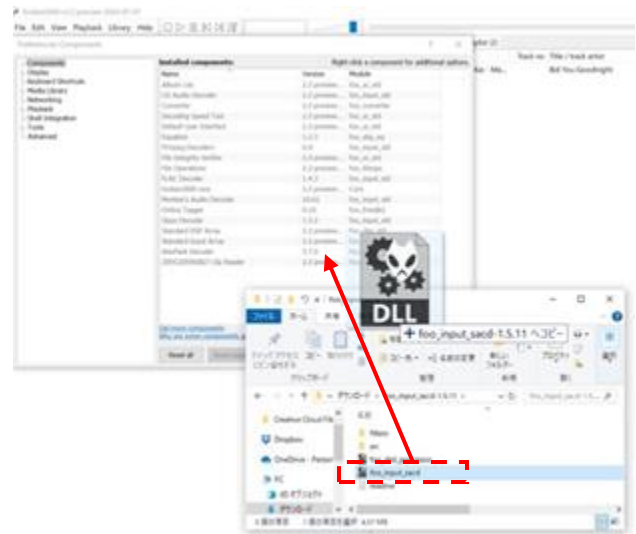
※ファイル名はバージョンにより異なります。



【6】

【2】で展開（解凍）したfoo_input_sacd-1.5.11フォルダー内にあるfoo_input_sacdを、Preferences画面の右側ペインにドラッグ&ドロップします。

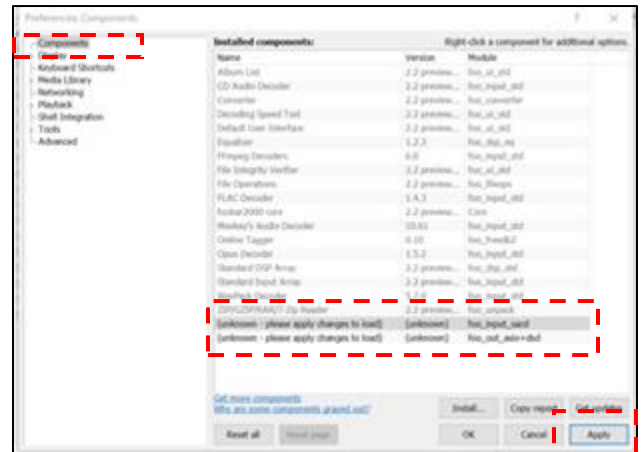
※ファイル名はバージョンにより異なります。



【7】

下記コンポーネントが追加されたことを確認し、[Apply] ボタンをクリックします。

- foo_input_sacd
- foo-out-asio+dsd



【8】

[OK] をクリックしてfoobar2000を再起動します。



3.foobar2000を設定する

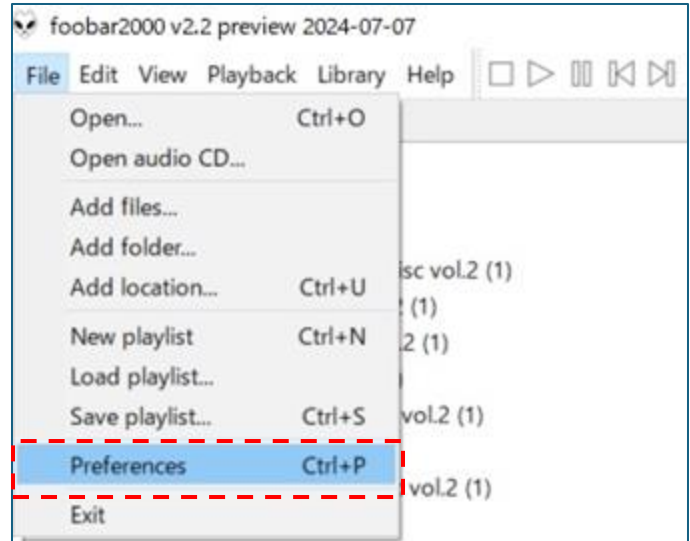
【1】

SWD-DA15またはSWD-DA20-SDをWindowsパソコンと接続し、電源を入れてください。

Foobar2000のメニューバーから
File

└ Preferences

を選び、Preferences画面を開きます。



【2】

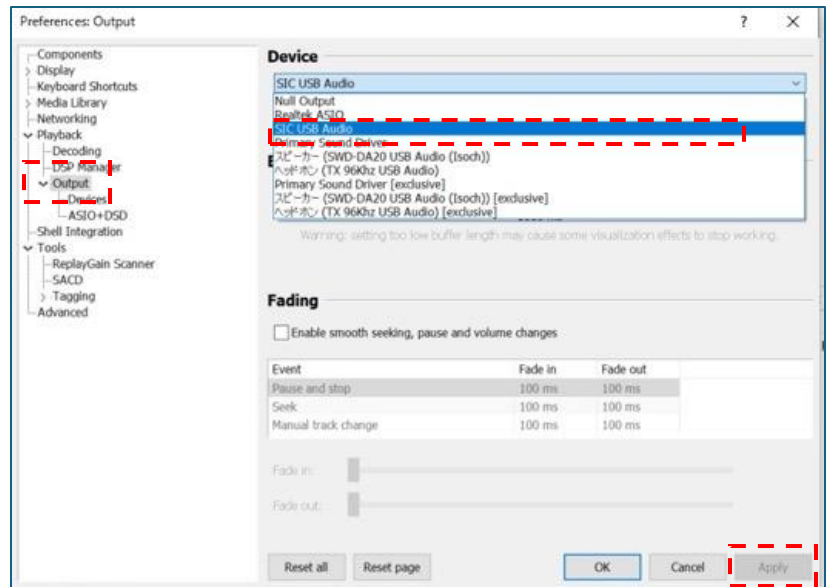
左側ペインで

Playback

└ Outputを選択します。

「SIC USB AUDIO」を選択します。

[Apply] をクリックします。



【3】

左側ペインで

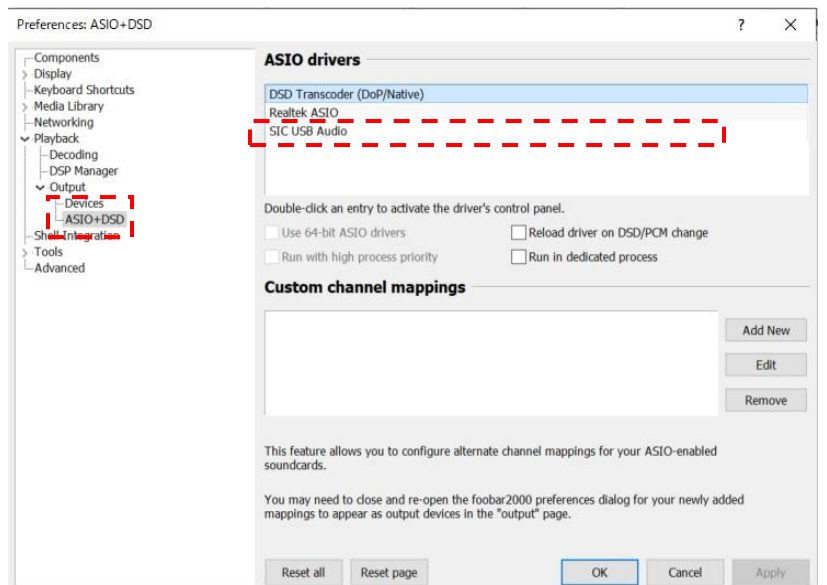
Playback

└ Output - ASIO+DSDを選択します。

右側ペインで

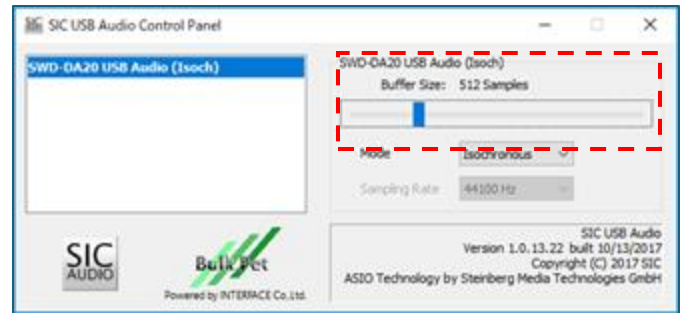
「ASIO Drivers」の項目にある

「SIC USB Audio」をダブルクリックします。

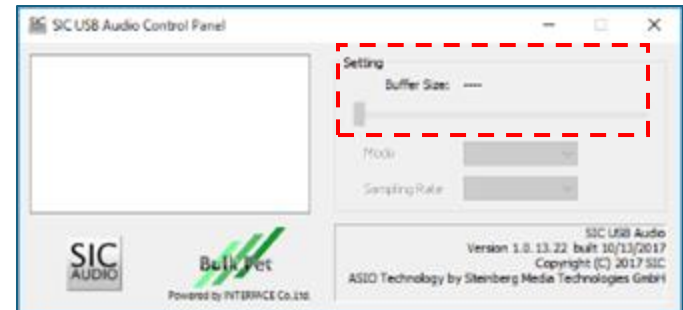


【4】

SIC USB Audio Control Panelで「Buffer Size」をお好みの長さに設定します。
音が途切れやすい場合は「Buffer Size」を長めに設定してください。



SWD-DA15またはSWD-DA20がWindowsパソコンに接続されていない場合、「Buffer Size」は変更できません。



【5】

「Mode」プルダウンメニューでデータ転送モードを選択します。

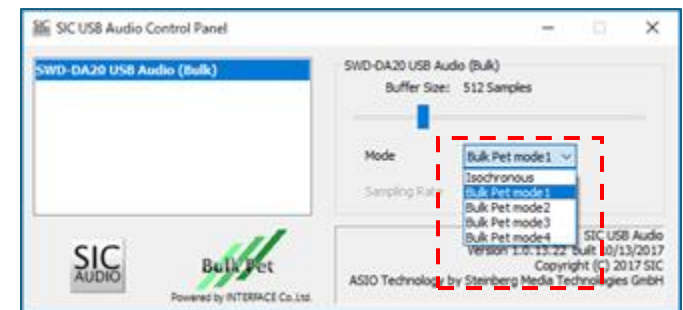
Isosynchronous

Bulk Pet mode 1

Bulk Pet mode 2

Bulk Pet mode 3

Bulk Pet mode 4



データ転送モードについては取扱説明書の

「ドライバを設定する (Windows)」を参照してください。

【6】

左側ペインで

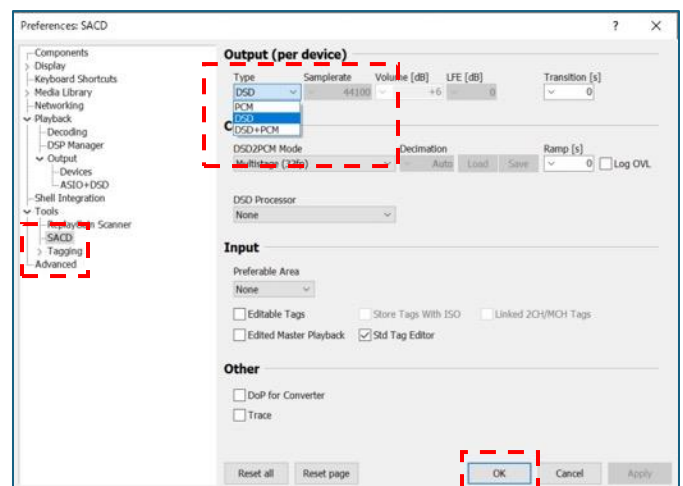
Tools

↳ SACDを選択します。

右側ペインの

「Output(per device)」で「DSD」を選択します。

[OK] をクリックしてPreferences画面を閉じてください。



以上

DSDはソニー株式会社の商標です。

Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

Mac、OS X、macOSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc. の商標です。